

南太平洋に浮かぶ美しい島々からなるソロモン諸島。その中でサンタ・イザベル島は最も細長く、険しい山々が連なりほとんどが熱帯雨林に覆われています。

スペインの冒険家アルバロ・デ・メンダナが十六世紀中ごろにソロモン諸島を発見した時、最初にこの島に來航しました。

島はサンゴ礁で囲まれ、海は魚や海ガメ、海岸はグンカンドリやツカヅクリなどの海鳥の樂園となっています。

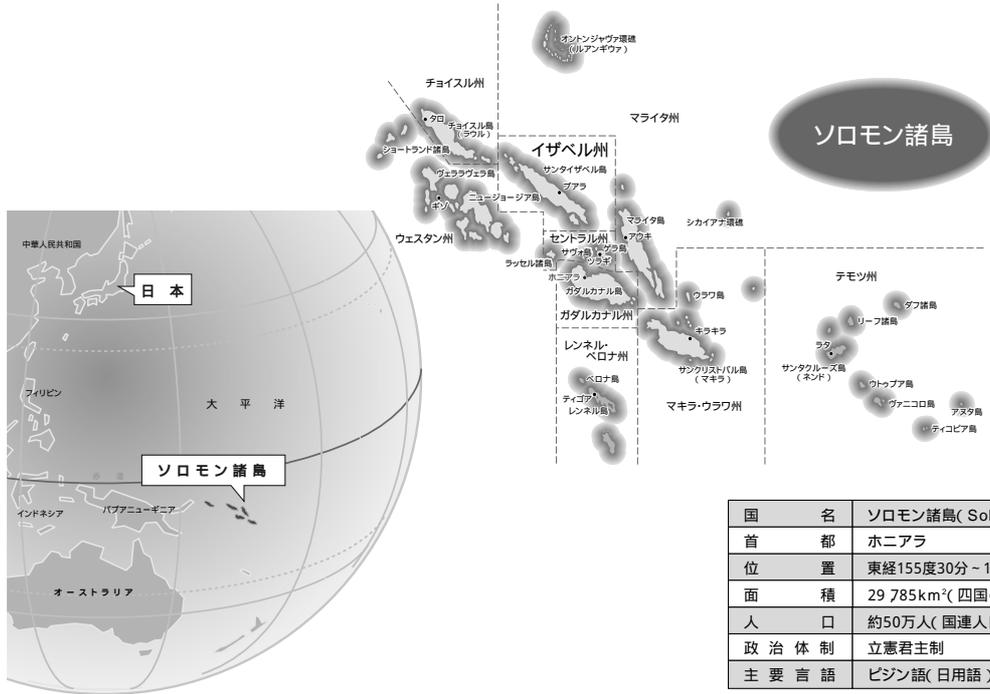
深い熱帯雨林にヘビやトカゲ、クロコダイルなどの野生動物が生息しています。

サンタ・イザベル島(イザベル州)



友好的で純朴な島の人々は、ほとんどがメラネシア系人種で、およそ六つの言語集団に分かれます。

点在する村々の家はサゴヤシの葉で作られ、都市部に比べ伝統が色濃く残り、海岸の干潟に柱を建てた家「水上住居」や山岳部の樹木の上に建っている「樹上住居」は、ソロモン諸島でも珍しく興味深い集落です。



国名	ソロモン諸島(Solomon Islands)
首都	ホニアラ
位置	東経155度30分～170度30分、南緯5度10分～12度45分
面積	29,785km ² (四国の約1.5倍)
人口	約50万人(国連人口基金「世界人口白書2002」)
政治体制	立憲君主制
主要言語	ビジン語(日用語)、英語(公用語)

7月13日(水)は阿久比町が万博を盛り上げます

ソロモン諸島ナショナルデー

ソロモン諸島は、愛・地球博「一市町村一國フレンドシップ事業」の相手国です。

阿久比町ではソロモン諸島ナショナルデーを祝福し、公式式典や公式催事を盛り上げます。

会場 長久手会場EXPOホール 時間 午前11時～正午

式典では町内小学校(東部、英比、草木、南部)の6年生がソロモン諸島国歌を歌います。

催事ではソロモン諸島の民族音楽や舞踏を中心としたステージショーが開催され、友情出演で阿久比町から「和太鼓かつみ」の演奏を披露します。

パピリオン(グローバルコモン6 南太平洋共同館)周辺など万博会場内でも魅力的なアトラクションが繰り広げられます。

市町村催事「阿久比町の日」

『あぐいの四季』をテーマに、あぐいの先人が培ってきたまつり、伝統芸能、文化活動にスポットをあて、あぐいのさとの四季の移りかわりを豊かな心のつながりで表現します。

会場 長久手愛知県館「あいち・おまつり広場」 時間 午前9時半～午後4時半

主な内容 ・オープニング(和太鼓かつみほか)

- ・あぐいの春～まつり(宮津山車保存会)
- ・あぐいの夏～おどり(あぐいおどりの会)
- ・あぐいの秋～於大の方(あぐい吟友会)
- ・あぐいの冬～うた(愛と自然をうたう合唱団)

あいち・ふるさと自慢市

西側テントスペースで阿久比町を紹介するため「花かつみ」「たんぼの四季」をイメージした展示などを行います。